

# 大学院に「飛び入学」おめでとう！

## 国際経済研究科政策管理専攻1年 横沢隆さん、小川知恵さん

今年4月、大学院国際経済研究科政策管理専攻1年（修士課程）に横沢隆さんと小川知恵さんの2人が、飛び入学しました。2人は経済学部経営学科に所属し、専門職「REPPU」コースで学んでいましたが、大学院へのステップアップの希望が強く、昨年度3年生を終了した時点で経済学部長の特別推薦選抜に合格。学部を3年で退学し、夢を叶えました。いま2人の胸の中には新しい大学院生活への期待が大きく膨らんでいることはもちろんですが、同時に未知の世界に対する不安も少なくありません。そうした心境や将来のことなどを率直に綴っていただきました。

### 税理士にあこがれて

横沢 隆

私の実家は税理士事務所を経営しており、幼い頃から税



横沢 隆さん

麗澤瑞浪高校在学時に、麗澤大学には「REPPU」税理士特進コース」という税理士を目指す学生を支援してくれる制度があること、そして大学に通学しながら専門学校にも

通えることを知り、麗澤大学への進学を決めました。大学に入学後REPPU税理士特進コースに所属してからは、日中は大学の授業を受け、夜間は専門学校で簿記や会計の勉強をする、という生活になりました。正直なところ何度か心が折れそうになりましたが、私と同じ目標に向かって勉強に励む先輩や同級生が

励みになってきたときはとても悩みました。というのは、両親は就職を勧めてきましたし、私自身も同級生と同じように就職しても良いとも考えていたからです。しかし、ゼミの先生から色々とお話を聞いたり、ダブルスクールを通して学問の楽しさを知ったことにより、さらに多くのことを学びたいという気持ちをおさえることができました。資格取得という一方からの勉強だけでなく、広範にわたる会計や税の知識が必要であると痛感したことも大学

### 会計や税をもつと研究

小川 知恵



小川知恵さん

私は大学に入学した当初、大学院への進学をまったく考えていませんでした。しかし、入学後に「REPPU」という専門職コースがあることを知り、「何か夢中になれるものを得たい」「資格取得をした」という理由から専門職コースの試験を受験しました。合格後は学部の授業と専門学校とのダブルスクールをすることにになり、とても大変でしたが、学習を続けるうちに簿記や会計・財務の理解が次第に高まり、自分自身の目標も見えてきました。

実は大学院への飛び入学が本格的になってきたときはとても悩みました。というのは、両親は就職を勧めてきましたし、私自身も同級生と同じように就職しても良いとも考えていたからです。しかし、ゼミの先生から色々とお話を聞いたり、ダブルスクールを通して学問の楽しさを知ったことにより、さらに多くのことを学びたいという気持ちをおさえることができました。資格取得という一方からの勉強だけでなく、広範にわたる会計や税の知識が必要であると痛感したことも大学

麗澤大学大学院国際経済研究科に飛び入学することを決めた理由は、「税理士試験の科目免除があること」と「学費が1年分節約できること」が主な理由です。税理士試験は5科目合格してはじめて合格なのですが、修士号を取得すると税法2科目の免除を受けることができます。税法2科

院へ進学する考えになった大きな理由です。大学院に入学してから少し経ちましたが、飛び入学を決めて良かったと思っています。大学院は学部時代よりも勉強する環境が整っており、集中して研究できる場であること

です。現在も大学院と専門学校とを行き来する毎日ですが、忙しいというよりは充実していると感じています。大学院に入学したことは自分自身の知識や経験を積むうえでとてもプラスになっています。同級生と一緒に切磋琢磨しながら一つ一つの研究テーマに取り組みむことはとても楽しく、何事に対しても真剣に打ち込めることは、学部

に打ち込めることは、学部生活はまだ1年半以上ありますが、あつという間に過ぎていってしまうのだと思います。これからも、自分自身の成長のために、研究に真摯に取り組みたいと考えています。

## チョウドウリ・コウシクさん、IABD学会で研究発表

### "Best Young Scholar Paper"賞を受賞



右がコウシクさん

麗澤大学大学院国際経済研究科経済・政策管理専攻博士課程3年のチョウドウリ・コウシクさんは4月8日～10日、アメリカ・ラスベガスで開かれたIABD (International Academy of Business Disciplines) の第22回年次総会に出席し、研究発表しました。指導教員の大場裕之経済学部教授も同行し、発表(学問力の実践)しました。表彰式では、IABD学会長のAhmad Tootoonchiフロストバーク州立大学学部長、IABD副学会長のGregory Payneエマーソン・カレッジ教授、および大会委員長(プログラムチェア)であるノース・フロリダ大学教授Paul Fadilより5人の研究者に学会賞が授与され、コウシクさんの研究論文も「Best Young Scholar Paper」賞を受賞。IABD学会より受賞楯と500USドルの小切手が贈られました。

IABDは非営利組織で、アメリカのフロスト・バーク州立大学、インディアナ・ユニバーシティ・ペンシルベニア大学、セントラル・アラカンサス大学、メリーランド大学、ノース・フロリダ大学、テキサス・クリスチャン大学の共催で運営されています。同学会は、1987年に創立され、アメリカだけでなく、ヨーロッパ、アジアとの知的ネットワークを有し、経済・経営分野を中心とする学際的研究で世界的に評価されている団体です。設立当初は、International Academy of Management and Marketingという名称でしたが、1989年より現在の名称に変更されました。

学会には、アメリカをはじめヨーロッパ、アジア、中南米から120人程度の研究者が参加。コウシクさんは4月8日のHuman Resource Management分科会で20分(10分プレゼン、10分質疑応答)報告しました。研究テーマは"Empirical Investigation on Employee Consciousness of HPWS and Commitment in Japanese Organizations."で、発表論文は同学会の学術書に収録されるとともにCDとしても保存されることになりました。同学会の学術書名は、"Business Research Year Book Global Business Perspectives" (Volume 17, 2010 Number 1 and Number 2)です。同分科会では、分科会のセッション長はノース・フロリダ大学教授Crystal Owen、メトロポリタン州立大学教授Jennifer Schultz、シッペンバーク大学教授Michael Coolson、パーデュー大学教授Gideon Falk、インディアナ・ユニバーシティ・ペンシルベニア大学教授Abbas AliおよびTootoonchi学会長らから、たくさんの有益なコメントを頂いたほか、報告後、参加された教授から、共同研究の要請がありました。要請された共同研究は、「人的資源政策管理とコミットメントに関する日本本社とアメリカにある海外子会社の意識的相違に関する研究について」でした。



梅雨のころから盛夏にかけて咲いているマメ科のネムノキ属です。落葉の高木で、東北地方以南に生育しています。花弁は糸状になっていて小さく、雄しべは上半分が淡紅色で下半分が白色、雌しべも白色に彩られています。雄しべを持つ20個ほどの花が集まってふんわりとした丸い球になります。夕方に咲いて夜や暑い日中は閉じ、オジギソウやフサアカシアに似ていて清楚な感じ。夜になると葉を合わせて眠るように見えるのでこの名前が付けられたようです。

### ネムノキ

俳聖・松尾芭蕉はネムノキで有名な秋田・象潟を訪れた際、雨に濡れたねぶの花の美しくさびしい気分を、中国・呉王の愛人で薄命の美人・西施に重ね合わせて詠んでいます。奥の細道の「象潟や 雨に西施がねぶの花」がそれです。キャンパスには10本ほど植えられていて、廣池千九郎博士の霊廟へ向かう小道のそばやゴルフクラブハウスの近くで見ることが出来ます。クラブハウス近くの木は大きくなりすぎて視界を妨げるようになったため「昨年、枝を相当切つて、すっきりさせました」(クラブ職員)とのことでした。その職員の指さす窓際に淡紅色の花が、葉の隙間からはかすかに覗いていました。ネムノキは、日常生活でもいろいろ活用されています。枝は太いので潮風や強風にも強く、樹冠は横に広がるので砂地の保安林などに使われています。昔、農家などでは葉をお香の材料に使っていました。お盆近くになると葉を採ってきて干し、白で挽いて抹香を作ります。樹皮を天日乾燥させた生薬は利尿や強壯、鎮痛に効能があり、重宝されていたと伝えられています。

とここでネムノキと聞いて思い浮かぶのは肢体不自由児療護施設「ねむの木学園」です。歌手で活躍していた宮城まり子さんが1968年に設立した日本ではじめての施設で、静岡県浜岡町から現在、掛川市に移転しています。浜岡町に造られた時その土地にたくさんのネムノキが植えられていたそうです。学園の名もそれ由来したのでしょうか。その後施設は、「村」に拡大、子供たちが学ぶ学校や絵の作品を展示する美術館などがあり、宮城さんは施設の理事長、園長、校長として今もなお活躍されています。